

財政事情

H22年11月版

町では、「大網白里町財政事情の作成及び公表に関する条例」に基づき、皆さんから納めていただいた税金等がどのように使われたか、また、使う予定なのかを知っていただくために、『財政事情』を年2回（5月と11月）公表しています。今回は、平成21年度決算の概要と、平成22年度上半期（4月～9月）の収支状況、また、平成21年度の健全化判断比率と資金不足比率についてお知らせします。

問 財政課財政班 ☎ (70) 0310

◆平成21年度会計別決算◆

下段の（ ）は、平成20年度の決算額です。

会 計 名		歳入決算額	歳出決算額
一 般 会 計		12,866 (12,565)	12,262 (11,131)
特 別 会 計	国民健康保険	5,077 (5,090)	4,974 (5,019)
	老人保健	27 (303)	14 (287)
	後期高齢者医療	324 (307)	318 (302)
	救護施設事業	199 (218)	199 (212)
	土地取得事業	2 (52)	1 (52)
	公共下水道事業	1,680 (2,009)	1,630 (1,974)
	農業集落排水事業	149 (143)	144 (140)
	介護保険	2,599 (2,480)	2,574 (2,416)
	土地区画整理事業	263 (365)	229 (288)
合 計	23,186 (23,532)	22,345 (21,821)	

※合計に合わせて一部の会計において切上げ・切捨ての処理を行っています。

ガス事業		病院事業	
区 分	歳出決算額	区 分	歳出決算額
ガス事業収益	664 (708)	病院事業収益	1,831 (1,705)
ガス事業費用	637 (677)	病院事業費用	1,940 (1,904)
資本的収入	8 (22)	資本的収入	83 (230)
資本的支出	134 (85)	資本的支出	109 (240)

平成21年度の町の決算について、一般会計と9つの特別会計を合わせた額は、歳入が231億8,643万円、歳出が223億4,503万円となりました。

前年度と比較して変更になっている主な点は、定額給付金をはじめとした繰越事業が約10億7千万円あったこと、国の経済対策に関連した交付金事業を実施したことなどが挙げられます。

一般会計における扶助費や公債費の増加、国からの各種交付金の減額に加え、高齢化の進行によって国民健康保険や介護保険の給付費、後期高齢者医療関係費は年々増加の傾向にあります。景気低迷の影響から自主財源の要である町税が減少しているなか、町の財政は今後も厳しい状況が続くものと考えられます。

◆一般会計

<歳入>

前年度と比較し、歳入決算額が増となっているのは、繰越事業となった定額給付金の財源が繰越金として計上されたことが主な要因です。

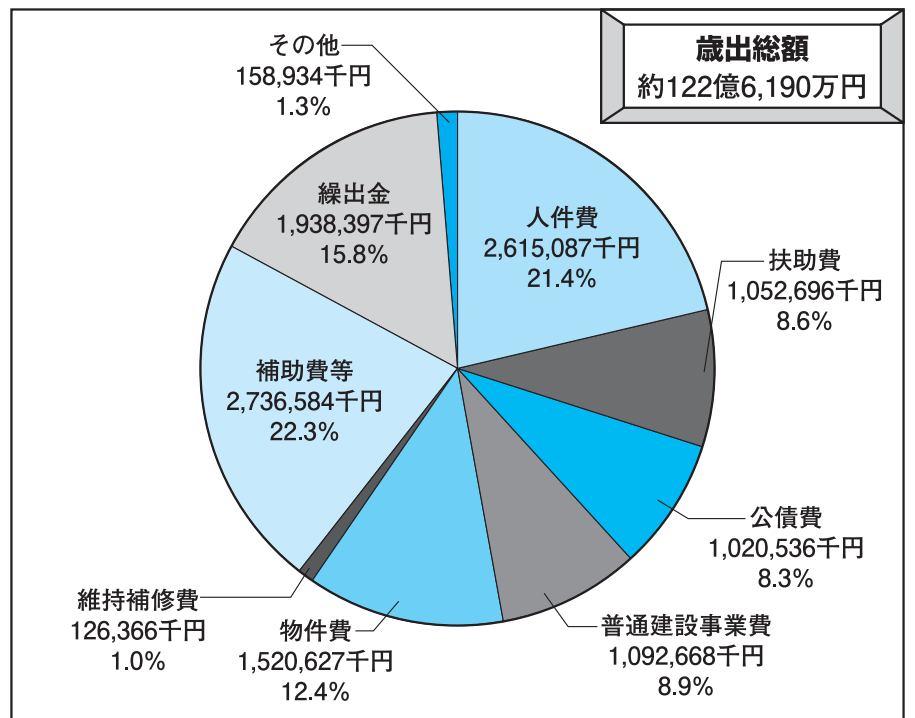
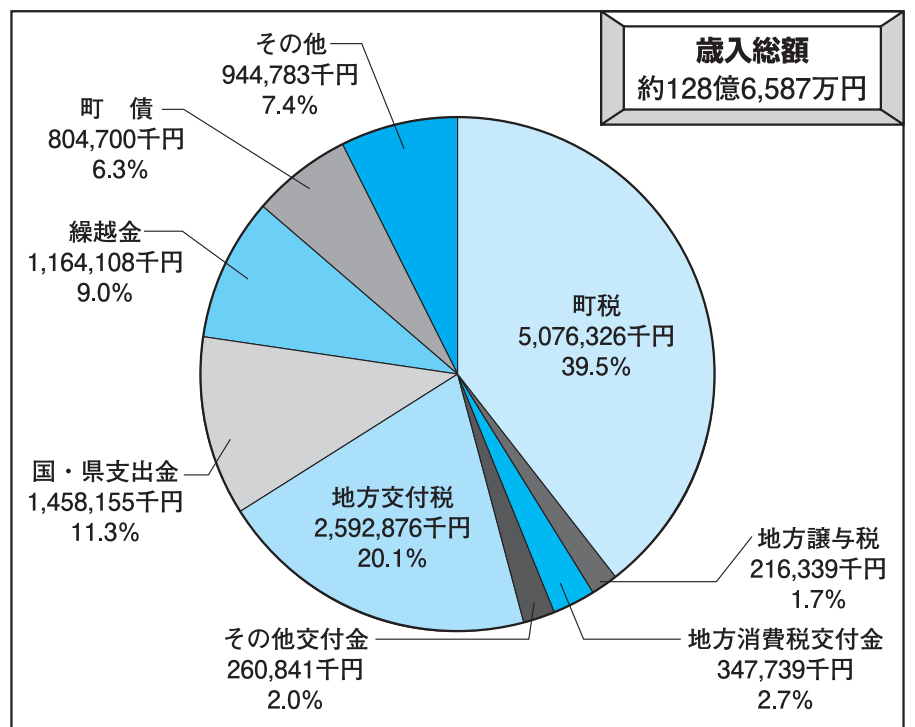
長引く景気低迷の影響を受け、町税や各種交付金が前年度を下回る状況になったものの、地方交付税は地方財政対策により前年度に比べ増加しました。

また、国県支出金は、地域活性化・経済危機対策臨時交付金等の交付や、地震補強事業補助金が前年と比べ増額となりました。

<歳出>

ここ数年、扶助費及び公債費の伸びが顕著になっているのが特徴です。普通建設事業費については、重点事業と位置づけている小中学校耐震化対策を推進するため、大網小学校の移転改築や瑞穂・増穂小学校等の耐震改修事業に取り組んだため、前年度と比較して歳出に占める割合が多くなりました。

一般会計の内訳（性質別）



町民1人当たりの決算額（目的別）

◇歳入 253,665円 ※一般会計の歳入・歳出決算額をそれぞれ人口50,720人（平成22年4月1日現在）で割った金額です。

◇歳出 241,757円

<歳出の内訳>

子育て支援・保育・福祉施策等に（民生費）	53,835円 (22.3%)
窓口サービス等、行政の運営等に（総務費）	44,300円 (18.3%)
学校教育・生涯学習・スポーツ振興等に（教育費）	32,668円 (13.5%)
医療費助成・健康対策・ごみ処理等に（衛生費）	32,511円 (13.4%)
道路・排水対策・計画的なまちづくり等に（土木費）	30,978円 (12.8%)
町債の元金・利子の償還に（公債費）	20,121円 (8.3%)
救急・消防・防災対策に（消防費）	11,844円 (4.9%)
農林水産業の振興に（農林水産業費）	11,022円 (4.6%)
町議会の運営等に（議会費）	2,883円 (1.2%)
海岸整備・商工観光振興等に（商工費）	1,595円 (0.7%)